



# 我が国循環産業の戦略的国際展開・育成 (うち我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業)

平成30年度予算(案)  
603百万円(590百万円)  
うち350百万円(360百万円)

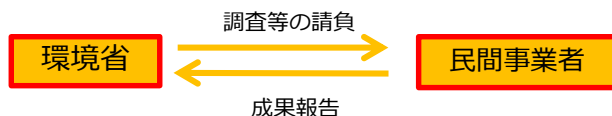
## 背景・目的

- 開発途上国は急激な経済成長の途上にあり、環境汚染の懸念
- 我が国は時代の要請に応じて循環産業を発展させてきており、環境保全及び循環資源において先進的な技術・システムを有する
- 本事業により、途上国の求める廃棄物処理・リサイクル・浄化槽による生活排水処理の実施を効率的に進め、世界的な環境負荷低減に貢献するとともに、環境インフラ輸出による我が国の経済を活性化する。

## 事業概要

- 政府、自治体、事業者等が相互に連携し、制度の導入支援と、廃棄物処理・リサイクル・浄化槽による生活排水処理システム輸出をパッケージ化
- 二国間協力や多国間協力と有機的に結びつけ、戦略的に支援
- 国内において、既存の枠組みにとられない新たな視点のリサイクルビジネスを支援するとともに、日系企業の国際進出に連動する国内循環産業の育成を支援

## 事業スキーム



## 期待される効果

- 適正な廃棄物処理・リサイクル・浄化槽による生活排水処理システムを国際展開 → 世界規模での環境負荷低減に貢献
- 循環産業の活発な国際展開 → 我が国経済の活性化

**【先行グループ】**  
・既に国際展開に踏み出せる事業者を対象  
・国際展開の可能性が高い国々におけるFS等を支援



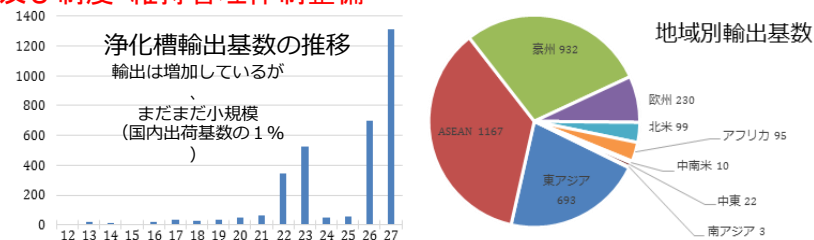
**【次世代グループ】**  
・次世代の国際展開を担う循環産業を育成  
・新たな視点のリサイクルビジネスを支援  
・未利用循環資源の輸入の活用等

## 我が国循環産業海外展開支援 基盤整備事業

85百万円  
(81百万円)

- (1) アジア諸国の3R・廃棄物処理・浄化槽関連情報の収集、情報提供、我が国循環産業・技術の海外発信
- (2) 国、自治体、事業者、研究者等による会合の開催、情報共有の推進
- (3) 現地セミナー、展示会の開催
- (4) 廃棄物収集及び廃棄物由来固形燃料の国際標準化への積極対応

## (5) 集合処理・個別処理の長所を踏まえた汚水処理施設普及案件形成、及び制度・維持管理体制整備



## 我が国循環産業海外展開 事業化促進事業

217百万円  
(208百万円)

- 具体的な海外展開計画段階にある廃棄物処理・リサイクル・浄化槽事業に対する、事業実現のための支援
- (1) 事業実現可能性(FS)調査(新規参入枠・自治体連携も考慮)
- (2) 情報発信・現地合同ワークショップ等で事業実施の協力関係構築
- (3) 事業の円滑運営に向けた現地関係者の能力開発事業
- (4) 戦略に基づいた、国別海外展開計画の策定

## 次世代の海外展開を担う 循環産業の育成

48百万円  
(69百万円)

- 未利用資源の有効利用技術を有する民間企業が海外展開していけるよう、ビジネスモデルの確立を支援
- (1) 全国・海外展開に向けた実証事業の課題整理及び支援策の検討
- (2) モデル的・産業・地域共生(エコタウン)支援事業
- (3) 高度リサイクル技術・スキーム運用のトライアル実証事業



# 我が国循環産業の戦略的国際展開・育成 (うち我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO<sub>2</sub>削減支援事業)

平成30年度予算(案)  
603百万円 (590百万円)  
うち253百万円 (230百万円)

## 背景・目的

アジア諸国を中心に、**世界の廃棄物の量が急増**し、喫緊の課題になっている。他方で、大量に発生する**廃棄物はエネルギーを生む重要な資源**であり、資源循環と気候変動の統合的取組の必要性がG7や循環基本計画等において指摘されている。2016年に発効した「パリ協定」等を踏まえれば、廃棄物分野における徹底的な気候変動政策の推進が不可避となっている。

こうした状況を踏まえ、本事業では、技術や経験を有する**我が国の循環産業の国際展開を後押し**することにより、**アジア諸国等でのCO<sub>2</sub>の大幅削減と廃棄物処理に貢献**する。(※日本再興戦略やインフラ輸出戦略にも記載)

## 事業概要

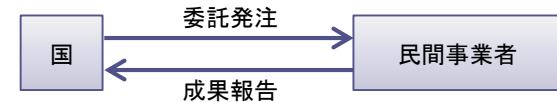
- I. 循環産業国際展開モデルの構築(補助) 203百万円(230百万円)  
先進的な廃棄物発電事業の国際展開の実現可能性調査等について、廃棄物分野の二国間協力や自治体間連携、温対法排出抑制等指針、CO<sub>2</sub>削減効果等を考慮しつつ、補助を実施。
- II. 循環産業国際展開モデルの拡大支援(委託) 50百万円(新規)  
新たな廃棄物発電事業の実施に当たり、発電効率や安定性等の質の高さが確実に評価されるよう、アジアの1ヶ国を選定した上で、発注や契約に関するノウハウを持った支援機関を当該国へ派遣し、優れた廃棄物発電事業の拡大を支援することで、CO<sub>2</sub>の更なる削減に貢献

## 事業スキーム

### I. 循環産業国際展開モデルの構築(補助)



### II. 循環産業国際展開モデルの拡大支援(委託)



事業期間: H30年度~H32年度

## 期待される効果

- 2030年度(平成42年度)までに6件の事業化等により、8.3万tCO<sub>2</sub>/年(2030年度時点)削減。
- 国際展開経験が少ない我が国循環産業の国際展開を後押しし、途上国の廃棄物問題を解決・我が国経済に貢献。

## 事業イメージ

